

『いっせいの』で解き放て! 思い描いたTHUMBNAIL

— 『もういいかい・まあだよ・もういいよ』 —

第022号 (R08.06.10)

～ 地震による避難訓練～

今日の避難訓練では、自分のめあてが達成できましたか。教室に帰ってから、しっかり振り返りをしましょう。災害のとき、自分の命を自分で守るために、昨年もお話した「0・1・?」の3つのことを、今年も一緒に確認しましょう。

ひとつめは、「0」です。「0」とは、地震が起きる前に準備することです。地震の前に準備することが、わかりますか。ここでクイズです。「火事の避難」と「地震の避難」、一番の違いは何でしょうか？

正解は、歩くスピードです。火事は煙から逃げるために「早く」避難しますが、地震のときは「急ぐ必要はありません」。揺れが収まった後も、上から落ちてくるものや、倒れてくるものがないか、足元と頭の上をよく見て慎重に歩くことが大切です。これを正しく知っておくことが、命を守る「0」の準備になります。

ふたつめは、「1」です。「1」とは、地震が起きてからすぐに行動することです。地震が起きたとき、すぐに行うのは「頭を守ること」ですね。教室なら机の下に入りますが、もし図書室や廊下、トイレなど、机がない場所で地震が起きたら、皆さんはどうやって頭を守りますか？

図書室に移動中なら、持っている図書バッグを頭に乘せて守ることができます。廊下なら、その場でしゃがみ込み、両腕で頭をしっかりと抱え込んでください。どんな場所においても「自分の命は自分で守る」工夫をしましょう。

みつめは、「?」です。「?」とは、考えていないことが起きたときの行動です。例えば、避難する道ががれきでふさがっていて、後ろからどんどん人が押し寄せてきたらどうしますか？

そのときは、パニックにならず、周りと声を掛け合うことが大切です。後ろの人に「止まって！前が通れないよ！」と伝えたり、「落ち着いて！」と声を掛け合ったりしましょう。そして、決められたルートが通れないなら、自分で別の安全な道を探す必要があります。

また、学校の外でも「?」は起きます。今日の宿題です。帰り道に、倒れてきそうなブロック塀や看板はないか、確認してください。

最後に職員室の前に、岩手県大槌町で撮影された「東日本大震災の画像資料」を職員室前に展示します。実際にどのようなことが起きたのか、その目で見て、今日の訓練の意味を改めて考えてみてください。